年度末報告書 (実行団体)

● 提 出 日 : 2022 年 10 月 20 日

● 事 業 名 :本人と家族が孤立しないためのひきこもりピアサポーター養成研修及び実践活動の全国展開

● 資金分配団体 : **社会福祉法人** 中央共同募金会

● 実 行 団 体 :特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会

● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成(通常枠での追加助成)の有無 : 図有 □無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成	現在の指標の達成状況	進捗
			時期		状況
					*
① 【ピアサポーター養成のア	・研修会の参加人	・新規ピアサポー	2023 年	●新規認定:47 名(2020)	2
ウトプット】	数と活動継続率	ター160名(3年間)	3 月	●新規認定者:49 名(2021)	
・ピアサポーター養成研修、フォ	・養成研修でのオ	認定。		●継続研修(4回)85名参加(2021)	
ローアップ研修を全国 8 ブロッ	ンライン受講者数	・既存ピアサポー		①養成研修に向けたファシリテーター講座:	
クで実施する。3 年間で 160 名	の増加	ターの継続研修を		15 名	
(20 名×8 ブロック)の新規ピ	・上記受講者のう	年4回(4講座)を		② 傾聴講座:24名	
アサポーターが誕生。また既存	ち、IT 化が促進さ	実施。		③ファシリテーション講座:22 名	
のピアサポーターを合わせると	れたことで受講を	1年間に20名×年		④事例検討:24名	
30 名×8 ブロック=240 名が研	決断できた人の	4回=80名のピア		●認定後の継続率:97%	
修を受講し全国でピアサポ活動	数。	サポーターが継続		(2020、2021)93 名が継続/96 名中	

を行っている。		的に学ぶ(目標達		●オンライン研修で受講を決断した人の割	
・ピアサポーター養成研修にお		成時期までに、80		合(IT 促進)	
けるオンライン受講の促進。ピ		名×2 年間=のべ		2020 年度:77%(33/43 名)	
アサポーター認定後の継続的な		160名)		2021 年度:71% (35/49 名)	
スキルアップ研修講座の実施					
				【2022 年度 中間報告】	
				●新規養成研修受講者 38名	
				4名(集合研修)34名(オンライン研修)	
				※オンライン研修で受講を決定した人の割	
				合、ピアサポ活動継続率はこれからアンケー	
				トを行う	
				_(ピアサポ研修受講者の支部限定に質問。認	
				定後も活動を継続している人数/認定人数)	
②【ピアサポ実践活動のアウト	・ピアサポ活動の	・ピアサポーター	2023年	●実践活動中、IT を使ったピアサポ活動の実	2
プット】	実践回数	活動の実践回数が	3 月	施率増加	
・各家族会で、自主的に、自分に	・ピアサポートの	増えている。(茶話		40% (2020) 45% (2021)	
できること、やってみたいこと	実践活動の数	会など、家族会の		●ピアサポーター活動の自発的な促進が見	
が見つかっており、活動の回数	・家族会全体での	中での交流、協働、		られる。	
が増えている。	IT の具体的な活用	継続機会が増えて		活動エピソードは、【別添】ピアサポ事業報告	
・各家族会においてピアサポー	状況	いる)		書 2021 参照(9ページ)	
ターのオンラインでのサポート		・IT を活用した実		(2022年度の具体的な回数は調査中)	
活動(相談・家族会開催)が増え		践活動が増えてい		※認定後の家族会全体での実践活動回数及び IT を	
ている。		る。		活用した実践活動の回数(これからアンケート実施)	
				※自主的な取り組みについてはインタビュー実施	

③【スキルアップ研修のアウト	・行政のピアサポ	・支部長が行政の	2023 年	●【コロナ禍で2度の中止】高知県で実施予	3
プット】	ーター活動の認知	担当者や支援者に	3月	定のスキルアップ研修は、1 度目は 2020 年 2	
スキルアップ研修によって、ピ	度	ピアサポーターを		月、2 度目は 2022 年 2 月。いずれもコロナ	
アサポーター活動への認知が広	・官民連携に向け	紹介する回数が増		禍で中止延期となった。	
がり、官民連携の促進につなが	た取り組みの回数	える。		→2022年8月6日、7日に「KHJピアサポ・	
る		・家族会と行政・支		フェスティバル in 高知」として実施した。	
		援者との情報交		(278 名申込:現地参加 141 名	
		換・意見交換会が		オンライン視聴申込:137 名)	
		増える。		●行政との定期的な情報交換、連絡を行った	
				のは、6割に上った(2021)	
				一昨年度は、行政へのピアサポーターの周	
				知活動は半分以下に(45.5%)	
				●行政への広報活動で多かったもの	
				①行政や支援者向けに講演会や研修(体験発	
				表など)を行った (23%)	
				②行政や支援者に向けて、ピアサポーターを	
				紹介する機会があった(30%)	
				連携エピソードは、【別添】ピアサポ事業報告	
				書参照(14 ページ)	
				(2022年度の具体的な回数は調査中)	
④【Web サイトのアウトプット】	・HP の閲覧者数	・家族会やピアサ	2023 年	●家族会参加の動機づけアップ	
家族会同士やピアサポーター同	・オンラインにお	ポーター同士の交	3月	・会員数が増加した約5割	

士の交流を通して、家族会全体	ける交流回数	流が盛んになる。	・当事者の参加が増えた 32.6%	
の情報共有が進み、ピアサポー	・ピアサポート	・家族会参加の動	●他の家族会と交流や意見交換を実施した	
ター活動への意欲が向上する。	Web ページのアク	機づけが上がる。	のは 74%。44%は会報やメールでのやり取	
	セス回数	・交流が増えて新	θ .	
		しいアイデアが生	●コロナ禍でプラスになったこと	
		まれる	4 割の支部がオンラインを利用し、コミュニ	
		・家族会や打ち合	ケーションの機会を増やすことができたと	
		わせ、運営委員会	回答	
		をオンラインで行	エピソードは、【別添】ピアサポ事業報告書参	
		う機会が増えた	照(16ページ)	
		(ZOOM など)	(2022年度の具体的な回数は調査中)	
		・ピアサポーター		
		への講師派遣依頼		
		数が増える		

*進捗状況:1計画より進んでいる、2計画どおり進んでいる、3計画より遅れている、4その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み

2.概ね達成の見込み

2.アウトカムの状況

A:変更項目

☑変更なし □短期アウトカムの内容 □短期アウトカムの表現 □短期アウトカムの指標 □アウトカムの目標値

3. 活動に関する報告

【ピアサポータ―養成研修(終了)】

2022年 8月4日(木)5日(金)・・・・ピアサポーター養成研修(高知県)

2022年 8月25日(木) 19時~21時 8月26日(金) 19時~21時

8月27日(土)13時~17時 8月28日(日)13時~17時

【ピアサポ・フェスティバル in 高知(終了)】

2022 年 8 月 6 日 (十) 13 時~16 時@高知会館

8月7日(日)10時半~16時@高知県民文化ホール多目的室

【支部(家族会)活性化研修(オンライン@zoom) (今年度に新しく企画実施)】

- ① 11/22(火) 19:30~21:30「ひきこもり基本法について」
- ② 11/25(金) 19:30~21:30「行政・民間支援団体との連携」(行政や支援団体とのつながりをどうつくり、どう連携していくか)
- ③ 11/29(火) 19:30~21:30 「家族会運営の悩み」(後継者不足・資金不足・高齢化・世代間交流など)
- ④ 11/30(水) 14:00~16:00 「長期高齢ひきこもりへの対応」

家族会のアウトカム(家族会の活性化)、行政・支援者のアウトカム(行政との多機関連携やピアサポーターの活用・育成のための自治体施策の促進)を見据えて、最終年度には、ピアサポーターのみならず、支部役員を対象に、支部(家族会)活性化研修を新しく実施する。

【今後の実施予定】

●12月1日(木):ファシリテーター研修

●12月9日(金):事例検討、グループトーク

(テーマ案:①親亡き後 ②親子・夫婦関係 ③家族会・居場所でのかかわり)

●12月13日(火):家族の傾聴(聴くこと、話すこと、伝えること)

(テーマ案:大人のための絵本プログラムを使って)

【新規養成者の認定のための実践研修】(WRAP・実践活動のグループ検討)

- ●2023 年 2 月 5 日 (日) 集合研修 (東京)
- ●2023年2月12日(日) オンライン研修

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

- ・オンラインに慣れていない参加者向けの ZOOM 練習会を複数回実施。。
- ・ネット環境の無い方にパソコン及び wifi ルーターの貸し出し調整を行い、オンライン研修への参加につなげた。

③ 広報に関する報告

- 1. シンボルマークの使用状況
 - ☑自団体のウェブサイトで表示している ☑広報制作物に表示している
 - ☑報告書に表示している ☑イベント実施時に表示している □その他
 - →「その他」を選択した場合は記載してください(自由記述):

2. 広報

1.メディア掲載(TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)

2022 年度に実施した「ピアサポ・フェスティバル in 高知」の模様が高知新聞に掲載されました。(2022/08/07)(添付)

2.広報制作物等

ピアサポーターの生の声を届けるべく「ピアサポーターVOICE」を当会発刊のひきこもり総合情報誌に連載。 (KHJ ジャーナルたびだち 102 号(夏号))

3.報告書等

ホームページに 2021 年度のピアサポ報告書を掲載した。2022 年度は、現在、制作中。

https://www.khj-h.com/traning-dispatch/peersuporter/

4.イベント開催等(シンポジウム、フォーラム等)

第 16 回 KHJ 全国大会 in 兵庫にて、シンポジウム「地域の強みを活かしたひきこもり支援」を実施。シンポジストにひきこもり経験者のピアサポーターを迎え、「ピアサポーターの活動と私」として発表する。(大会 2 日間(動画視聴者含む)360 名)

④規程類の整備に関する報告

1.	. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。					
	☑完了 □整備中					
2.	. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。					
	☑全て公開した □一部未公開 □未公開					
	→「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日:					
3.	. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。					
	☑ はい □いいえ					
	→「いいえ」を選択した場合の理由:					

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.	社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
	☑ はい □いいえ
	→「いいえ」を選択した場合の理由:
2.	内部通報制度は整備されていますか。
	☑ はい □いいえ
	→「はい」の場合の設置方法(複数選択可):☑内部に窓口を設置 □外部に窓口を設置 □ JANPIA の窓口を利用

3.	利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
	□はい ☑ いいえ
	→「いいえ」を選択した場合の理由:体制が少人数で内部で確認ができてるため。
4.	関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
	☑ はい □いいえ
	→「いいえ」を選択した場合の理由:
5.	コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
	□はい ☑いいえ
\rightarrow	「いいえ」を選択した場合の理由:コンプライアンス委員会を設けていないので開催していません。
6.	報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)
	☑内部監査を実施 □外部監査を実施 □実施する予定がない
	→「実施する予定がない」を選択した場合の理由:

添付資料

活動の写真(画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度)

〇ピアサポータ―基礎研修(集合研修 in 高知)の最終日の模様



○ピアサポータ─基礎研修(オンライン研修)の初日の模様



●ピアサポ・フェスティバル in 高知 1日目(8月6日) トークショウ(於:高知会館)の様子



●ピアサポ・フェスティバル in 高知 2日目(8月7日)トークショウ(於:高知県立県民文化ホール)の様子

